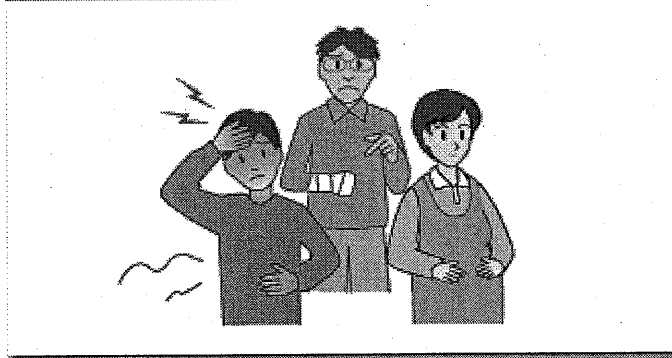
共立チエンソーの正しい使い方

共立チェンソーの正しい使い方 | 共立刈払機の正しい使い方 | 共立背負動力散布機の正しい使い方 | 共立背負動力噴霧機の正しい使い方

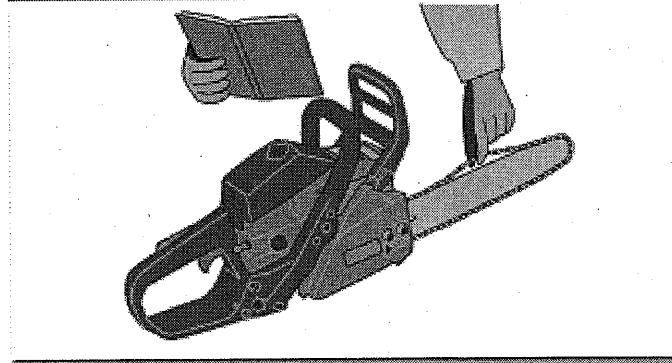
1 必ず取扱説明書を読みましょう。

ご使用前に、製品に附属の取扱説明書をよく読んで十分に理解してから運転操作をしてください。

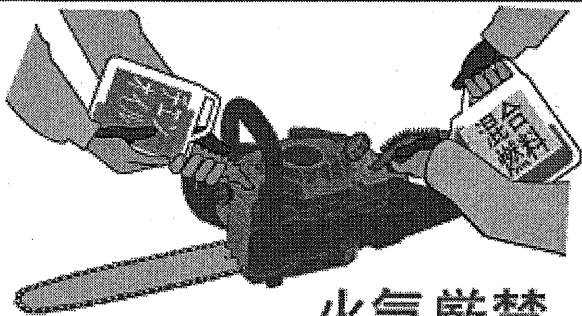
2 こんな時は運転操作しないで下さい。

病気・過労・体調の悪い時や妊娠中の場合、また、お酒や身体に影響を及ぼす薬を飲んだ時には作業を行わないでください。

3 作業に適した作業服・保護具を着用しましょう。

すそじまり・袖じまりの良い作業服と保護めがね、防振手袋、作業靴、すね当てなどの保護具を着用してください。

4 作業前に各部の点検をしてください。

取扱説明書の内容に従って、各部品がきちんと取り付けられているか確認してください。特にソーチェンは正しく取り付けてください。

このページのトップへ

5 取扱説明書で指定された燃料を補給しましょう。

2ストロークエンジン専用オイルが正しく混合された燃料を、こぼさないように注意して機械の燃料タンクに入れ、しっかりフタを締めます。チェンオイルは燃料の補給の度に一緒に補給します。火気厳禁です。

6 エンジンが冷えている場合の始動方法

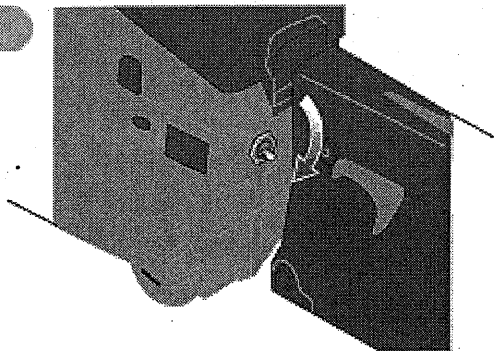
ストップスイッチを始動の位置にします。

・チョークノブを手前に引いて下さい。
・プライマリポンプが付いている機械はプライマリポンプを数回押してポンプ内に燃料が上がってくるのを確認し、さらに2～3回押します。

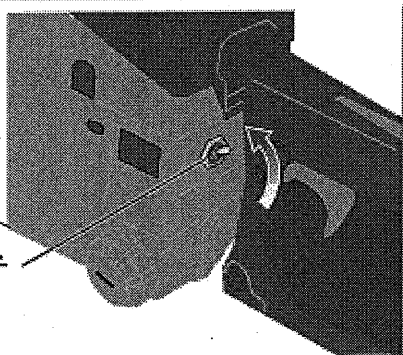
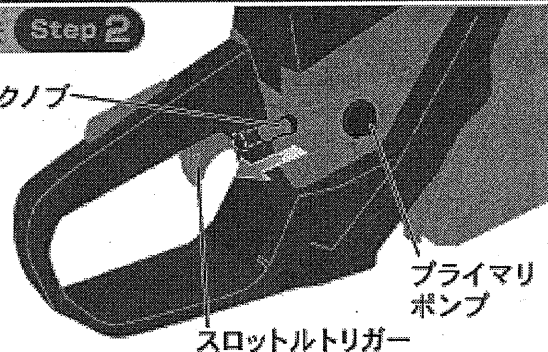
前ハンドガード（ブレーキレバー）を前方に押し、チェンブレーキを作動位置にして下さい。

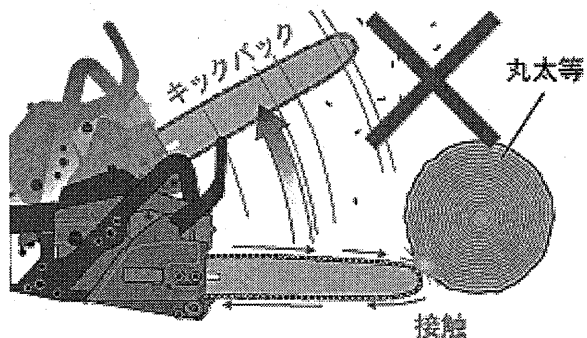
チェンソーを図のように押さえ、スタータグリップを最初のエンジン爆発音がするまで数回引いて下さい。

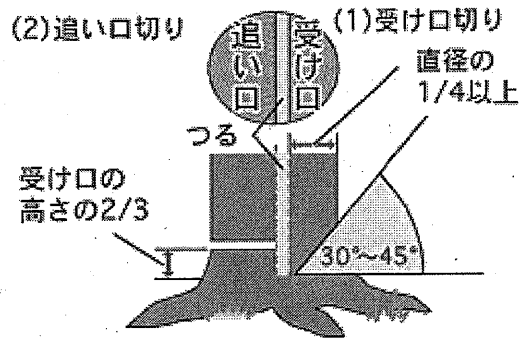
・最初のエンジン爆発音がしたら、すぐにチョークノブを戻し、再度スタータグリップを引っ張るとエンジンが始動します。
・エンジンが始動したら、スロットルトリガを少しだけ引いてから指を放し、エンジンの回転を下げます。
・チョークレバーを引いたまま何回もスタータグリップを引くと燃料を吸いすぎて始動できなくなります。

・前ハンドガード（ブレーキレバー）を手前に引き、チェンブレーキを解除位置にして下さい。
・2～3分間低速で運転して、暖機して下さい。

エンジンの停止はスロットルトリガから指を離して、エンジンがアイドリングになってから、停止スイッチを停止の位置にします。

このページのトップへ

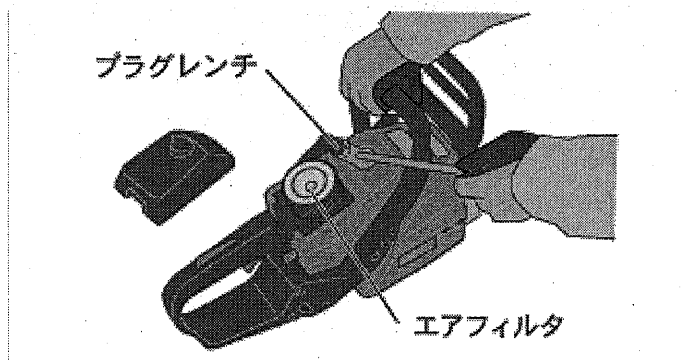
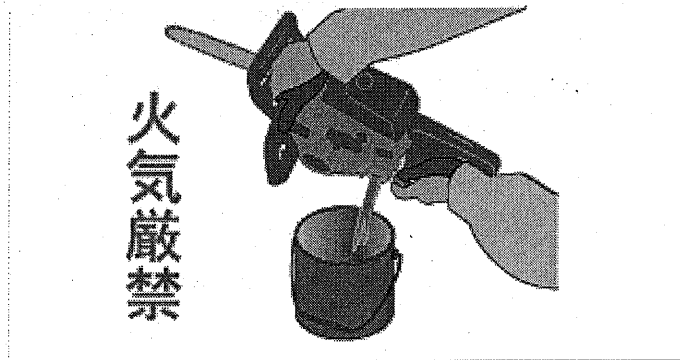
7 エンジンが暖まっている場合の始動方法

・ストップスイッチを始動の位置にします。
・チョークをせずにスタータグリップを引いて下さい。

4～5回スタータグリップを引いても、エンジンが始動しない時には、エンジンが冷えている場合の始動方法と同じ方法で行って下さい。

8 キックバックの発生を防止しましょう。

ガイドバーの先端の上側にものが接触するとチェンソーが作業者に向かって跳ね上がるキックバックが発生します。大変危険ですので、この部位を接触させないように注意して下さい。

9 伐倒の方法

チェンソーを用いた作業は危険を伴うことがあります。操作法についての教育訓練を受けて、正しい使い方を身に付けて下さい。

このページのトップへ

10 安全で快適な作業のために

11 長期間使用しない場合は

安全で快適な作業のため、取扱説明書の内容にしたがって点検・整備を行って下さい。
●ソーチェンの目立て
●ソーチェンの点検
●ファンカバーの清掃
●エアフィルタの清掃
●燃料フィルタの清掃
●オイルフィルタの清掃
●ガイドバー溝の清掃
●チェンオイル吐出孔の清掃
●プラグの清掃

長期間（60日以上）使用しないで格納する場合は、取扱説明書の内容に従って、燃料タンク・気化器内部の燃料を抜いてください。

このページのトップへ